



すすめるけん

県がすすめている取り組みを紹介します！

長崎しま旅 わくわく乗船券・航空券で 県内の「しま」を楽しもう！

県では、有人国境離島法[※]による国の交付金を活用し、市町や旅行会社と連携して、現地の体験プログラムに利用可能な体験クーポンがセットになった「長崎しま旅 わくわく乗船券・航空券」を販売しています。

[※]有人国境離島地域の保全及び特定有人国境離島地域に係る地域社会の維持に関する特別措置法

わくわく乗船券 = 往復乗船券 + 観光体験クーポン券 (約120メニュー)

[対象地域] 佐世保市(宇久町)、対馬市、杵岐市、五島市、小値賀町、新上五島町
※島での宿泊が必要です。宿泊費は乗船券には含まれません

わくわく航空券 = 島での宿泊 + 往復航空券 + 観光体験クーポン券 (約20メニュー)

[対象地域] 対馬市、杵岐市、五島市

最大8,000円分の体験が楽しめます！
※クーポンの額は航路・航空路によって異なります

「しま」ならではの体験プログラム

圧倒的な透明感を誇る青い海、キリシタンの歴史を物語る教会や古代ロマンを感じさせる史跡、そして地元の食材たっぷりのグルメの数々。県内の「しま」ですてきな思い出を作っていただくために、さまざまな体験プログラムを用意しています。

体験プログラムの一例

- 対馬 → 真珠アクセサリ作り、シーカヤック、浅茅湾観光クルージング^{あそうわん}など
- 杵岐 → 杵岐ちゃり(電動アシスト付自転車)、辰ノ島クルージング(遊覧)、定期観光バス 杵岐島巡りなど
- 五島列島 → 絶景の夜空 星空ガイド、船釣り(五島市)、島ヨガ(新上五島町)、ネイチャーカヌー(小値賀町)、宇久の歴史まち歩き など



シーカヤック(対馬市)



五島手延うどんづくり(新上五島町)



定期観光バス 杵岐島巡り(杵岐市)



夢をかたちに！

長崎県知事
中村法道

本県は「しま」の面積が県土の約4割を占める全国一の離島県です。「しま」の活力が県全体の活性化につながることから、県では国境離島地域の滞在型観光を促進し、交流人口の拡大を目指しています。皆さんもぜひ「しま」ならではの体験プログラムを楽しんでください！

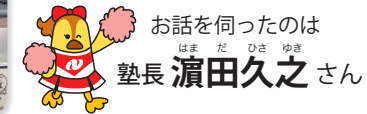
問合せ 県の観光振興課 ☎095-895-2645 長崎しま旅 検索



長崎県医師臨床研修協議会

「新・鳴滝塾」

(長崎市)



お話を伺ったのは

塾長 濱田久之^{はまだ ひさゆき}さん

長崎を再び、全国から若い医師が集まる場所に

研修医は医療現場の質の向上・病院の活性化に欠かせない「灯」のような存在ですが、10年ほど前、長崎県の研修医の受け入れ数が大きく減少しました。そこで、県と県内の臨床研修病院がタッグを組み、「オール長崎」で若い医師を受け入れ、定着につなげようと2010年に設立したのが「新・鳴滝塾」です。日本で初めて長崎で西洋医学を教授したシーボルトの鳴滝塾にちなんで命名しました。



「新・鳴滝塾」の研修医



研修医の指導をする濱田塾長

指導体制向上などで マッチング数3年連続 全国9位に

「研修するなら長崎県！」のスローガンを掲げて活動した結果、若手研修医の獲得は10年間で総数860名とV字回復し、2017年には研修医と病院を結ぶマッチング数で全国9位になりました。特に力を入れたのは病院の指導体制の向上です。県全体で指導員講習会を開催したことで、主要病院の約68.3%が指導員の免許を持って



県内で頑張っている企業や人に エール(応援)を送ります！

います。また、見学のための旅費の助成や、長崎県の魅力(食べ物や祭りなど)の積極的な情報発信も効果がありました。

県内どこでも質の高い医療が受けられるように

離島などでは医師が不足しています。長崎県の医療の実情を国に知らせるのも新・鳴滝塾の役目です。また、長崎大学病院の中に「メディカル・ワークライフバランスセンター」を設立し、医療に携わる人たちが仕事と生活の両立を実現できるように、さまざまな支援を行っています。

今後も質の高い研修プログラムを用意して多くの研修医を迎え、定着してもらうことで、県内どこでも質の高い医療が受けられるようにしたいと思っています。



「研修するなら長崎県！」をスローガンに 全国の研修医に長崎県の魅力を発信し、若手医師の育成・定着に取り組んでいます。